

NEWS RELEASE



独自の 12 相トランス技術による高効率 HVDC ソリューションを紹介
「未来をつくるテクノロジー展 日経クロステック NEXT 東京 2026」出展

河村電器産業株式会社（本社：愛知県瀬戸市、代表取締役社長：水野一隆、以下当社）は、2026 年 9 月 29 日（火）・30 日（水）に東京国際フォーラムで開催される「未来をつくるテクノロジー展 日経クロステック NEXT 東京 2026」に出展します。「HVDC（高圧直流配電）パビリオン」において、次世代エッジデータセンター向けの 12 相トランス技術を用いた、エネルギーロス削減する HVDC ソリューションを紹介します。

【背景・概要】

近年、AI の利用拡大に伴い、データセンターの需要は増加しています。一方で、データ処理能力の向上に伴う冷却用電力の増加など、データセンターの電力消費の増大は大きな課題です。こうした課題への対応策として、従来の AC 配電と比較して、電力変換ロスや配電損失の低減、導体使用量の削減に貢献する HVDC が注目されています。HVDC は地方分散型のエッジデータセンターでの活用も進んでいます。

HVDC のさらなる高効率化に向け、当社は独自の巻線構造を採用した 12 相トランス技術の開発を進めています。12 相トランス技術は、高圧交流から低圧直流へ高効率に変換できるほか、独自の巻線構造により同等性能品よりも小型・軽量化を実現しています。キュービクルメーカーとして培った技術を活かし、受電・変電・配電を一体化した「12 相トランス搭載 直流キュービクル」の開発に取り組んでいます。本キュービクルは、機器数の削減による故障リスク低減や安定運用、エネルギーロス削減、省スペース化への貢献が期待されます。



▲ 12 相トランス搭載 直流キュービクル（実証品）

本展示会では、12 相トランスのデモ機や直流配電の実証実験映像を通じて、独自の 12 相トランス技術の仕組みを展示します。また、「12 相トランス搭載 直流キュービクル」の開発構想および、同技術を用いたエッジデータセンター向け HVDC ソリューションの将来の活用想定を紹介します。

【展示会 情報】

展示会名	未来をつくるテクノロジー展 日経クロステック NEXT 東京 2026
会期	2026 年 9 月 29 日（火）・30 日（水）
会場	東京国際フォーラム E ホール
ブース	376
主催	日経 BP
公式サイト	https://events.nikkeibp.co.jp/xtechnext/2026tky/

◎ 本件に関するお問い合わせ先

コーポレートコミュニケーション部広報課 高見 090-7952-7230 蜷川 090-8346-3706